役者評判記

チ13
3849
108

嘉永
三戌

役者早稽理京上

チ13
3849
108

チ13
936
188

後者早料理

永久坂き老員孫　義和宗

御貝物の御入素々
文日乃御客人

貝類の御東中々
一座乃客様方

樹理献立の組向々
口味好　五人仕組

奥多穀菜の調味へ
後者義の出勤

子 15
108

五味丈夫の味ひを 辛酸甘苦切の妙

塩梅加減で光る者ハ 名誉を顕す役者の望

上手下手の見手も料理人 時代と世話を仕分る上手

下戸と上戸の肴好ハ 取りべを花実の評論

芝居好の目によ附へバ 銀主も共よ見物

京大坂大芝居の役者目録

京四条 北側芝居 名代

同 南側芝居 名代

大坂角の芝居 名代

○見る手料理を料理人のまねをして…

△此中入の分ハ味ひ又ハ旅行の名あり

大上上吉 ▲立役巻頭 三桝大五郎

大上上吉 ▲立役巻軸 尾上多見蔵

上上吉 ▲立役之部 嵐璃寛 △

上上吉 実川延三郎 片岡我童

上上吉　嵐雀猛△
上上吉　市川市紅△
上上吉　尾上松寿
上上吉　中村寿助
上上吉　沢村源助△
上上吉　尾上愛蔵△
上上吉　浅尾與根△
上上吉　尾上松助△
上上吉　三桝源助△
上上吉　阪東義助△
上上吉　市川家蔵△
上上吉　嵐雀與市△
上上吉　嵐寿猛△
上上吉　市川市十郎△
上上吉　中村寿郎△
上上吉　中村勘三郎△
上上吉　河竹雛助△
上上吉　小川菊蔵△

上上

市川新十郎　△
市川紅葉　△
所郡秋久郎　小
嵐猪登　△
嵐長三郎　△

上上

三桝他人　小
中村歌十郎　ち
尾上梁三郎　△
所郡梁三郎　南
嵐芳三郎　△
市川森之助　△
所郡秋久之助　〃
浅尾市蔵　〃
尾上和市　〃
市川市郎　〃
実川延次　〃
市川助右衛門　△

上上

尾上多賀之丞　小
嵐猪郎　△
中村雲八郎　〃
実川虎次郎　南
実川伊助　〃
三桝惣次郎　小
所郡柳蔵　南
嵐猪蔵　△
嵐猪次郎　△
市川猪之助　小

上　嵐鶴三郎　小
上　浅尾栄郎　〃
上　三桝源之丞　〃
上　尾上仁左衛門　△
上　中村八右衛門　〃
上　大川岩蔵　〃

上　市川義太郎　△
上　所郡沢次　〃
上　坂東勘三郎　〃
上　尾上梁郎　〃
上　中村文十郎　〃
上　大岩蔵　〃

一上 板東長三郎 △　一上 浅村松之助 △
一上 大川金蔵 〃　一上 市川弥蔵 〃
一上 市川為蔵 〃　一上 河原市太 〃

望上吉

小川長吉郎 △
中山文七 小
川西八十郎 中
浅尾長六 △　一上 河原市郎 中
一上 浅村金郎 〃　一上 宮川栄次 △
一上 市川栄次郎 〃　一上 中村安右 〃
一上 大川為蔵 〃　一上 市川市郎 〃
一上 中村仲八 〃　一上 鳥羽為蔵 〃

上上吉

板東寿郎 △
▲五段後見
市川助三郎 △
▲実悪敵役
中村友三 ち
▲実悪敵役外郎
中村仲蔵 △
▲実悪敵役
中村伝九郎 △
▲実悪敵役
中村伝次郎 △
▲実悪敵役
市川新蔵 か
▲実悪敵役
市川市郎 か
▲実悪敵役
中村仲蔵 △
▲実悪敵役
市川市蔵 ち
▲実悪敵役
中村伝次郎 △
▲実悪敵役
浅尾奥山 △
▲実悪敵役
中村何蔵 △

上上
中村弥三郎 △
実川大八 男
実川鶴蔵 ゞ
竹屋惣十郎 ゞ
実川菊蔵 男

上上
中村菊東 小
牧東八郎 男
中山源兵衛 △
中山源太郎 △
大谷廣右衛門 △
坂東彦三郎 男
中村芝翫 小
中村歌右衛門 △
実川大八 男
実川鶴蔵 ゞ
竹屋惣十郎 ゞ
実川菊蔵 男

上上
中村歌右衛門 △
大谷廣太郎 △
市川海老蔵 ゞ
市川三蔵 小
尾上松九郎 ゞ
中山右蔵 ゞ
市川團次 △
市川團次郎 ゞ
菊五郎九郎 ゞ
大川友蔵 ゞ
姉川伊之助 ゞ
竹屋市五郎 男
竹屋菊三郎 男
市川和十郎 △
竹屋松十郎 小

上上
中村歌右衛門 △
大谷廣太郎 △
市川海老蔵 ゞ
市川團十郎 △
市川團次郎 ゞ
菊五郎九郎 ゞ
大川友蔵 ゞ
姉川伊之助 ゞ
竹屋市五郎 男
竹屋菊三郎 男
市川和十郎 △
竹屋松十郎 小

上上

中村釜助
市川豪介
中村鶴之助
尾上門之丞
尾上菊之丞
中村芝之助
浅尾門之助
片岡松之助
中山富之助
浅尾金太
坂東五九郎
坂東三津蔵

一上 宮戸長之助
一上 婦川伊六
一上 市川鶴蔵
一上 尾上多見蔵
一上 宮戸左十郎

一上 宮戸長之助
一上 片岡長蔵
一上 実川門之丞
一上 実川堂蔵
一上 中村友吉
一上 尾上松兵

上上吉

浅尾與六

若女形之部

中山南枝

上上吉

大上上吉

中村大吉

上上吉

実川勇之助

上上吉

中村千之助

上上吉

市川寿春

上上吉

片岡長之助

上上上　中山一德△

上上上　尾上菊五郎　右

上上上　笠川八郎右衛門　右

上上上　宮井藤吉　小

上上上　中村さとみさ　小

上上上　笠川八郎右衛門　右

上上上　中村歌右衛門　小

上上上　尾上松之助　小

上上上　三枡藤次郎　小

上上上　宮井藤吉　小

上上上　中村常盤　△

上上上　宮井藤吉　小

上上上　中村歌保志　小

上上上　浅尾勇枝　右

上上上　市川右之助　小

上上上　中村芝翫　△

上上上　中山家三郎　右

上上上　市川みのと　△

上上上　市川猿之助　小

上上上　尾上松之助　小

上上上　宮井藤吉　小

上上上　中村芝翫　△

上上上　中村歌右衛門　△

上上上　三枡藤次郎　△

上上上　中村歌右衛門　△

上上上　中山家三郎　右

上上上　中村梅玉　△

上上上　中村歌右衛門　△

上上上　中村芝翫　△

上上上　三枡藤次郎　△

上上上　中山家三郎　右

上上上　市川藤三郎　△

至上吉　山中金作　△
▲義女形別頭
真上吉　中村政六　△
▲角髪姫形の後ろ姿
上上　市川猿蔵　角
市川の名はわかアの義流考
上上　三拝稲丸　〃
ハヒイキのつうの目出たいのうた芸
上上　市川米蔵　角
中村猿蔵　△
市川武代三郎　角
尾上菊之助　△
三拝虫三郎　〃
中村政蔵　角
市川猿蔵　〃

中村猿蔵　角
市川ひろ平　〃
実川延三郎　〃
所長我孫　〃
中村政蔵　〃
市川猿蔵　〃
上上　中村芝七　角
のびれる今のうるさい世ちのうるさいだんまり
上所長我市　小
上中村政蔵　〃
上所長信三郎　角
上所長政三郎　小
上中村芝九　〃
上実川延治郎　〃
上実川小延次　〃
上実川歌市　〃
上三拝鬼蔵　角
上市川猿蔵　角
上市川芝蔵　〃
上中村仲市　〃
上市川米三郎　〃
上清尾後六　〃
上市川市松　〃
上尾上菊松　〃
上中村政六　〃
上所長後松　〃

一上 中村勢ゝ矢角 一上 三拝柿九角
一上 三拝柿発〃 一上 市川の〃佛〃
一上 宮川発〃 △一上 市川新発〃
一上 嵐陽市〃 一上 嵐狂ゝ矢△

大極上吉 ▲発文形越後見
中村富田十帝△
とあるは紙の裏に海表紙の裏に海表紙

▲頭 取ゝ邪
赤坂清発
尾上友助
市川新帝
京 小例
嵐 ゝ矢帝

蔵例
中村富帝
所 所 所 所 又十帝
角種
中村友二

大吉 ▲狂言板表紙後見
市川海老蔵
赤ゝ方ゝ海老蔵の表ゝ方ゝ海老蔵ゝ
▲雑子方ゝ邪
小例 ゝ狂

一狂言 海老市帝
一狂言 坂東宗三郎
一狂言 発房ま七
一狂言 岡川佛ゝ帝
一弾 行年矢ゝ矢
一狂言 発房ゝ矢ゝ合
蔵例
一狂言 玉村芝ゝ乗
一狂言 中村百造
一弾 行年発ゝ分
一弾 行年市南ゝ矢

一狂言 海老市帝
一弾 行年折ゝ矢
一狂言 坂東宗三郎
一狂言 発房ゝ矢男
一狂言 発房ゝ造
一狂言 拝盆 西陰
一狂言 中村新帝
ゝ種
一弾 行年発ゝ矢
一狂言 発房ゝ矢
一狂言 発房ゝ造

角の種
一狂言 海老市帝
一狂言 田中佛ゝ帝

[illegible]

▲狂言作者之部

奈河亀輔

奈河正持

奈河宗春

奈河篤作

長谷川春助

松隠助

金史朗

奈河正稽

越井豊桃

並木五兵衛

北側の座

実井辰助

浅岡茂吉

嵐翠琢逸

南側の座

葉村楯助

二葉萬助

金沢金五郎

辰巳武平

嵐琴八十助

角の座

嵐翠三助

木場茂三郎

木場猿助

嵐琴八十助

千穐万歳
大々叶

大極上吉
尾上菊五郎
大川橋蔵
詠 世
羽
音
屋
川
法大久寺
地内
植木屋
朝二郎
門
植木屋
第同朝二郎
俗名 植木屋
松五郎
嘉永二酉年四月廿四日
生年 六十七歳
圓州 槌川
圓州槌川石碑之写
幅 二尺 高サ 五尺三寸二分

[illegible]

[illegible] チト [illegible]

［ヨキ］[illegible]

[illegible]

［さゞめき］[illegible]

[illegible] チト [illegible]

［さゞめき］[illegible]

先年岩井より二代の尾上菊五郎の
あとつぎ中にも此度の位付諸人の格別か
扨とうか一流への人く 先代の役々の化は
近年の外にも任せ有かたく それより宝る
そうれいと成やまされら人々様とは此
かね年く 此度此年か 実く 香善
まことなく [きよ好] 奥家庭尾上菊の
立身りをとほめく それより尾上家
数さまへの幕府おもう位付けそうれとおう
名へ和一流おめく めくやむくさき大当りく
それ実は是七大入り全く梅幸様実て大當りす
りく [頭取] 先ん菊五郎は是を此お評
申く是迄の御ヒイキ多く此お実おもりとく
が此へ一座の御面々様の御あらたの評じやう
御ヒイキの御面々様左右を頼の御評

嘉永二酉ノ十二月廿六日 寺 中ノ町 かめある

覺善梅寶真実信士

俗名 沢村其答 当年二十六才

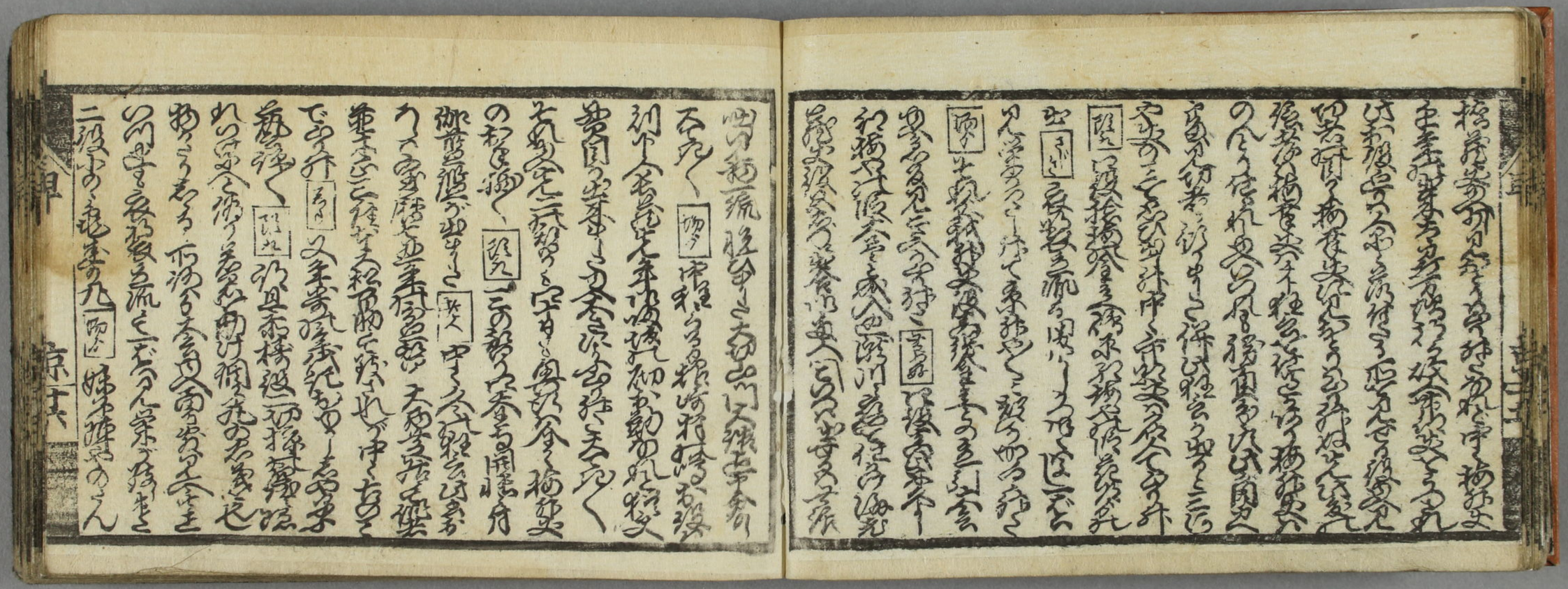
[頭取] 扨此方様の役者の中に評判御ヒイキや
多くは御狂言も見事に申す多くの風情を
ことくに真実家の御役柄にて平生より
おしんで御評判をとくし御ヒイキ様方
おしい一遍の御評判にておしき事せ [北手] のごとく
真実御家の役者御評判ともおもほえ
少しも親かたの評判をとうして御家をとなせ
[頭取] 御おしむ評判べ評判多く御贔屓
評判御家の御浪は八歳より御いたわり
其より三度目の御見物お御世話の御評判に
大切なる御役者の御頼みにて御評判の
これより [見物] 去る御ひいき申しての御家

め〔illegible〕さらに〔illegible〕御座候 [〔illegible〕] 二の替り初雛子
故〔illegible〕なと〔illegible〕開二役して〔illegible〕と
〔illegible〕文〔illegible〕て秋葉〔illegible〕
〔illegible〕の手ト〔illegible〕
切〔illegible〕け〔illegible〕 [〔illegible〕] 〔illegible〕
〔illegible〕
〔illegible〕
小の〔illegible〕の〔illegible〕
御〔illegible〕く [〔illegible〕] 八〔illegible〕
[〔illegible〕] 〔illegible〕
の〔illegible〕 [〔illegible〕] 〔illegible〕
その〔illegible〕
[〔illegible〕] 切〔illegible〕小〔illegible〕一段〔illegible〕
〔illegible〕 [〔illegible〕] 二〔illegible〕
〔illegible〕

〔illegible〕 [〔illegible〕] 〔illegible〕
〔illegible〕 [〔illegible〕] 七〔illegible〕
〔illegible〕の〔illegible〕
〔illegible〕ガチト〔illegible〕
二役〔illegible〕 [〔illegible〕] 山科の〔illegible〕
〔illegible〕 [〔illegible〕]
〔illegible〕の〔illegible〕
〔illegible〕
〔illegible〕 [〔illegible〕] 〔illegible〕
〔illegible〕
〔illegible〕
〔illegible〕ひべし〔illegible〕
〔illegible〕
〔illegible〕の〔illegible〕

大上吉 △立役巻頭 三桝大五郎

[illegible]

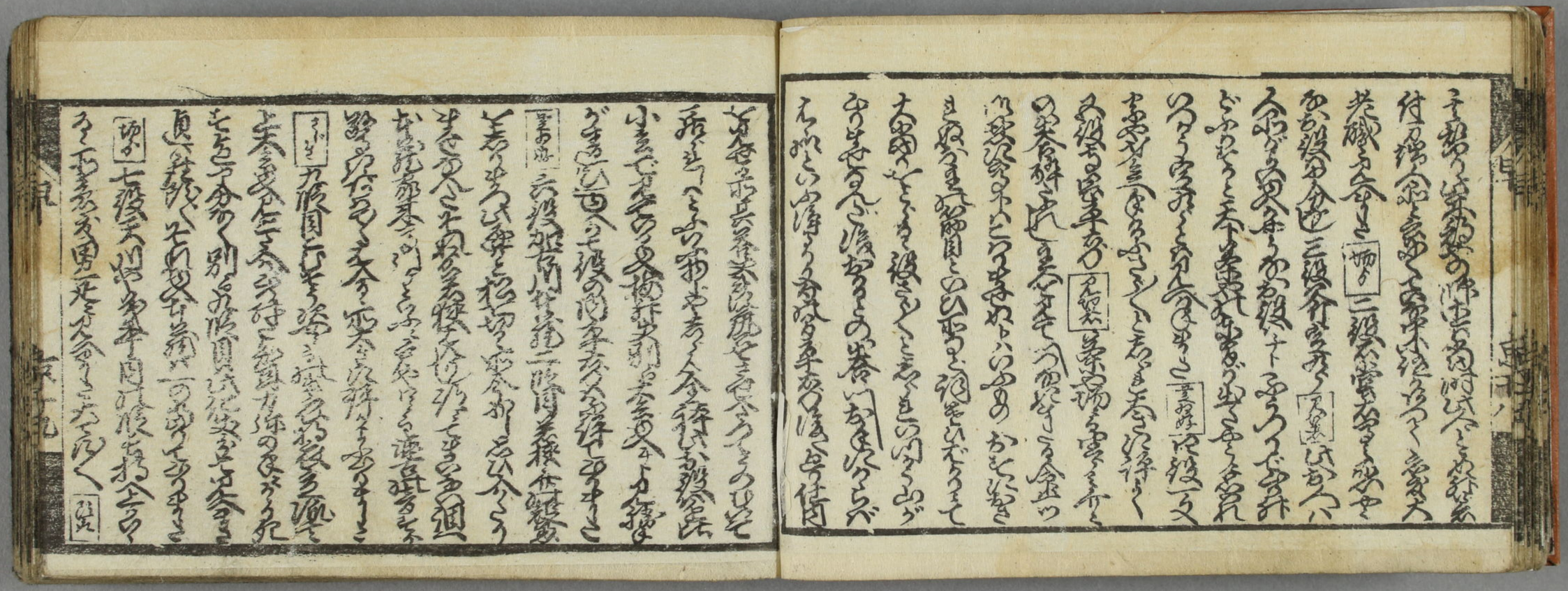


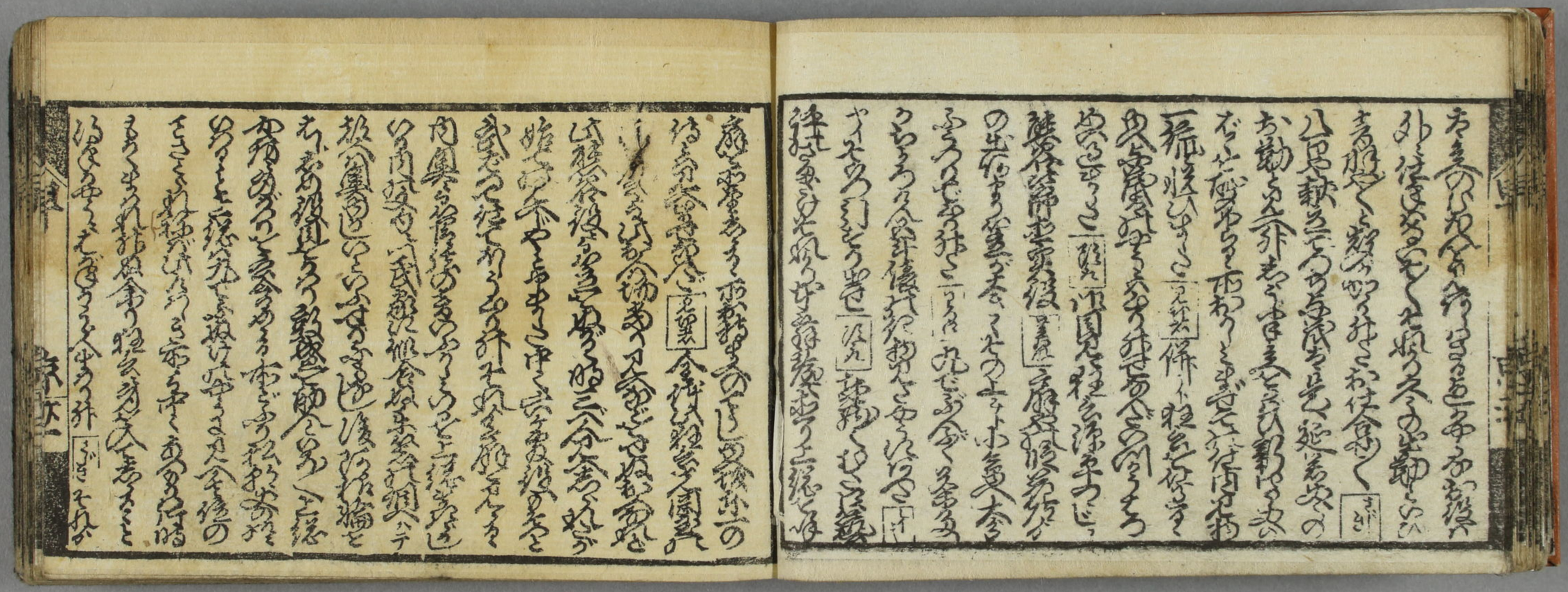
所作事段々評判よく出端の所よし流し[illegible]
よく[illegible]
して死なれる所よし[illegible]三段[illegible]
[illegible]

市武右衛門段々評判よく出端の所[illegible]
[illegible]

「頭取」今年はとりわけ御役者のうへでござりますゆへ御咄申ませう
扨此度の役雅楽之助チド見事でござります「化子」
先の中でも元祖これまでの評判をうけ、やはり桐野
若衆方におゐて此度も「ひいき」其外大入多くいたし評判も
甚だよく大入多く柳井などのおかまひもなくそれより
京の御贔屓出勤なく川端にて此度の役「川原」
此方にも大当りとも見へてそれより大入なりますること段
中の芝居へ「川西」秋よりの役所に思案定
存の由其上ひいきの衆も大当りとぞ申ひいき
御ります「ひいき」役者評判は是よりよし
肉服「さとさ」海老蔵のお勤めは一番の出来大当年
又役者よりお勤めなされまするよし達者
又出来今年の出勤にて大評判でありまする
切に此度の役者評判よく出来大坂
表の大評判の評判よき役者大当り

く「頭取」八代目の評判にて仕内大当り
宮様役「芝居」大序の場よりの通し狂言
若衆方の役柄おさめ切り抜きて大当り
何もかく二役紀有常「ひいき」いづれも評判
評判よく村松の出来役者方当り
かく申すも実は評判の役者まことに
海老蔵の出来とも多くの評判なるよし
る大評判なりまするもまた大当り
切に評判の役者評判よく「さとさ」通し
三十の内まことに評判別評判よろし
出来まするさ「ひいき」七代目出勤評判
七役目の評判大評判ながら大当り
此度役者評判よく二役評判なりとて
是も大評判よろしくてござりまする
の評判今の出来大評判「頭取」三代目評判





上上吉

△ 嵐猪寛

京四條北側芝居作者 早雲合縁大夫

假名手本忠臣蔵

七

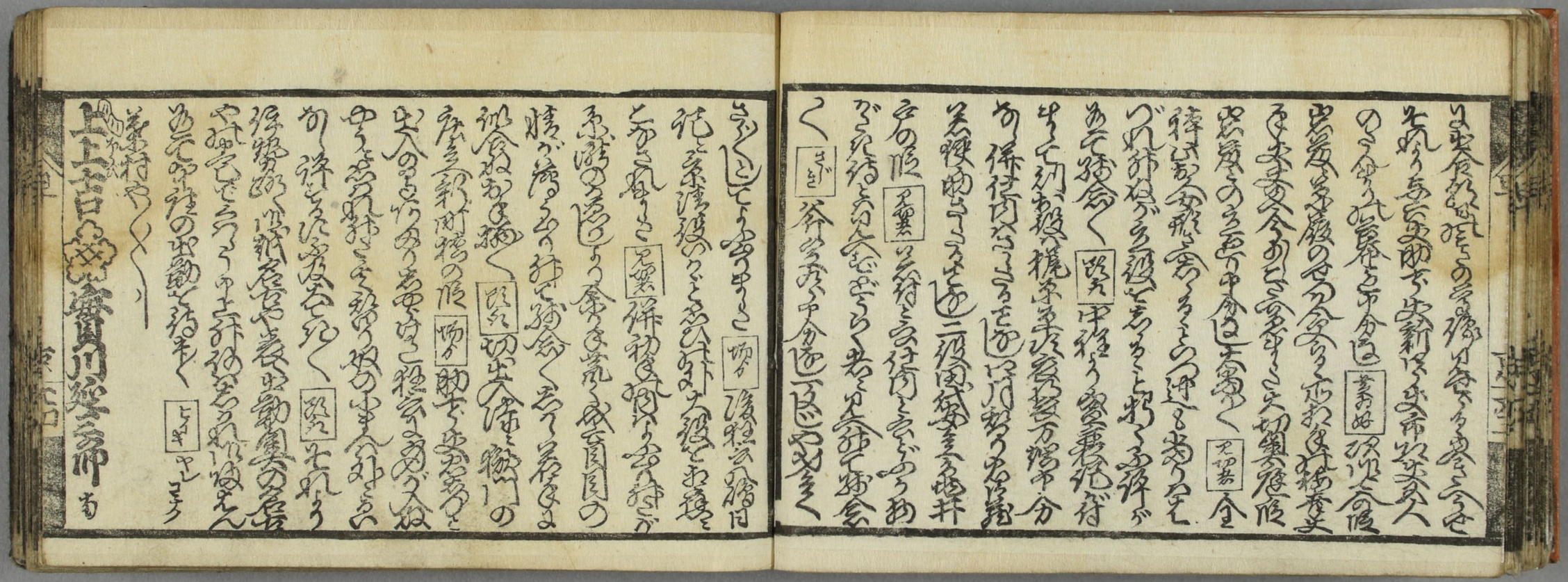
文

後狂言 新演雲物語

切狂言 双蝶々曲輪日記

御付けられし所に今年は係大谷の
芝へ是非共上りて頂きたく下りてもよしさ
場ゟ 此狂言は切場共付方お世話ありき
内にも名は今年は後見が場を相勤て上りせう
ゆへ去る芸付て係く 是迄 掛物を取り女形家
まこと今年芸と荒れ付けけるへ此物は此方が多いり
大勢でおまる所は所に来てこの奥まさ中く
くれんでござ升 さてさ 二段目は清盛さて
ござ升せんが 所作 後は狂言は二場の鶴
大和屋の役者は大当り出来た勤めた
能く 場ゟ 切は後見は大かさ大ぜい之浅
頂けまと存て後は三度目は場をおわ
是は奥女形の役はお付けり役の最と
大かた一統同じ事しても此所さ様ぞよ
今後能く御事存て其人にはそれゆるお

皆これよく上れ此の御親分よりの事よ
助も宮川の先の体の和らかく御の此手
去りとて一応引取てから後方へ是はど此つて是
御覧だ此所も後悔此方の女房は女郎
ゟり金銀出しても無る中一とせ祝いの事より
つき大今の芸を奉りの口を御大事る持つ 場ゟ 後
さも物よしかけ大々も中でも寺一を去るきそ
より此度いは召し出したのもき此の頃升んが
大きなうちに清ゟ此中は此所まで芝居へ
の親のやうを見て一ゟ此の奥之段は大方今一巻
中へ今方のも見て又五郎の付をもがよいこと
所作 是れは是非と初役をいたして村さんがきさ とや
ほうほう鍛冶やく二段目先尾上菊五郎
二代の尾上と云ふ事を蒙り何となく一同是
よき女の御物はされいく此所とより芸のまま



上上吉 金賀川駅之図 吉

[段九]敵の[illegible]此方[illegible]
[illegible]の[illegible]井筒[illegible] [ヒイキ]
[illegible]延[illegible]の[illegible]
二[illegible] [段]
[illegible]川[illegible]
段 [三方の始?] 大[illegible]の[illegible]
[illegible]
内[illegible]
[illegible] [サビ] [illegible]
より[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
の[illegible]一日
[段切] 二段[illegible]大[illegible]
[illegible]
[サビ] [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] [三の始?]
[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

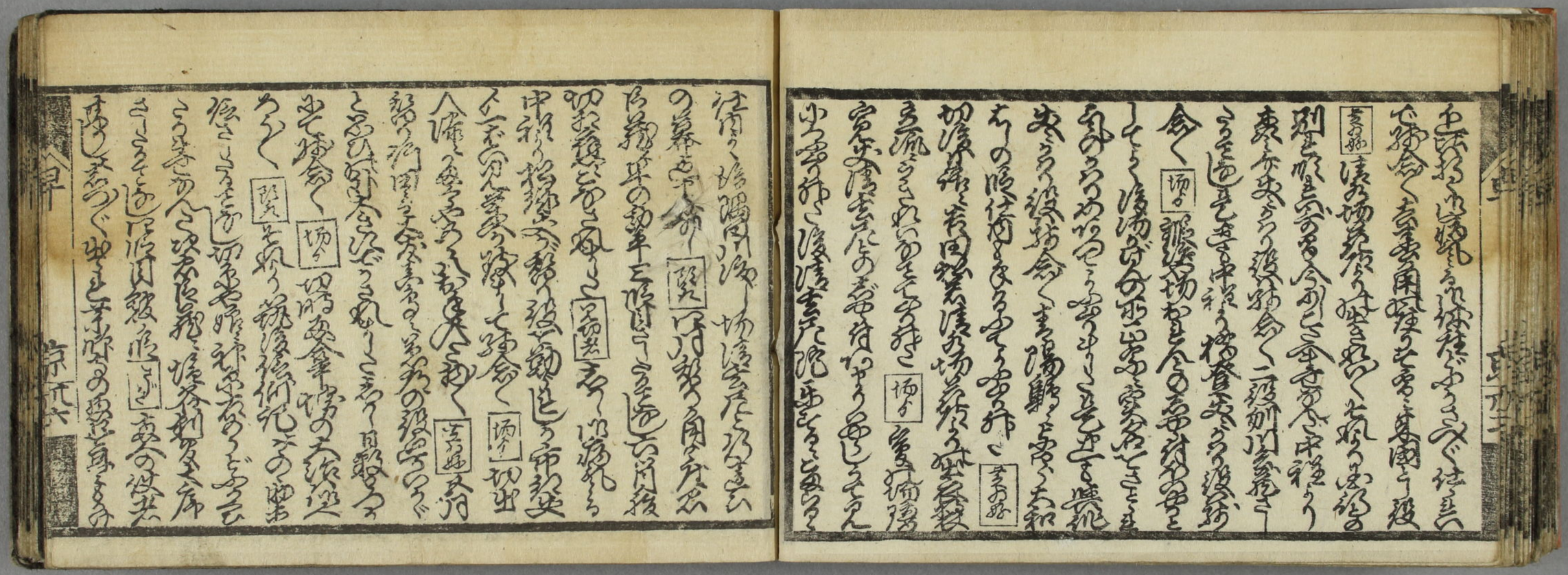
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



上上吉

尾上松緑

上上吉

中村芝翫

上上吉

沢村源之助

上上吉

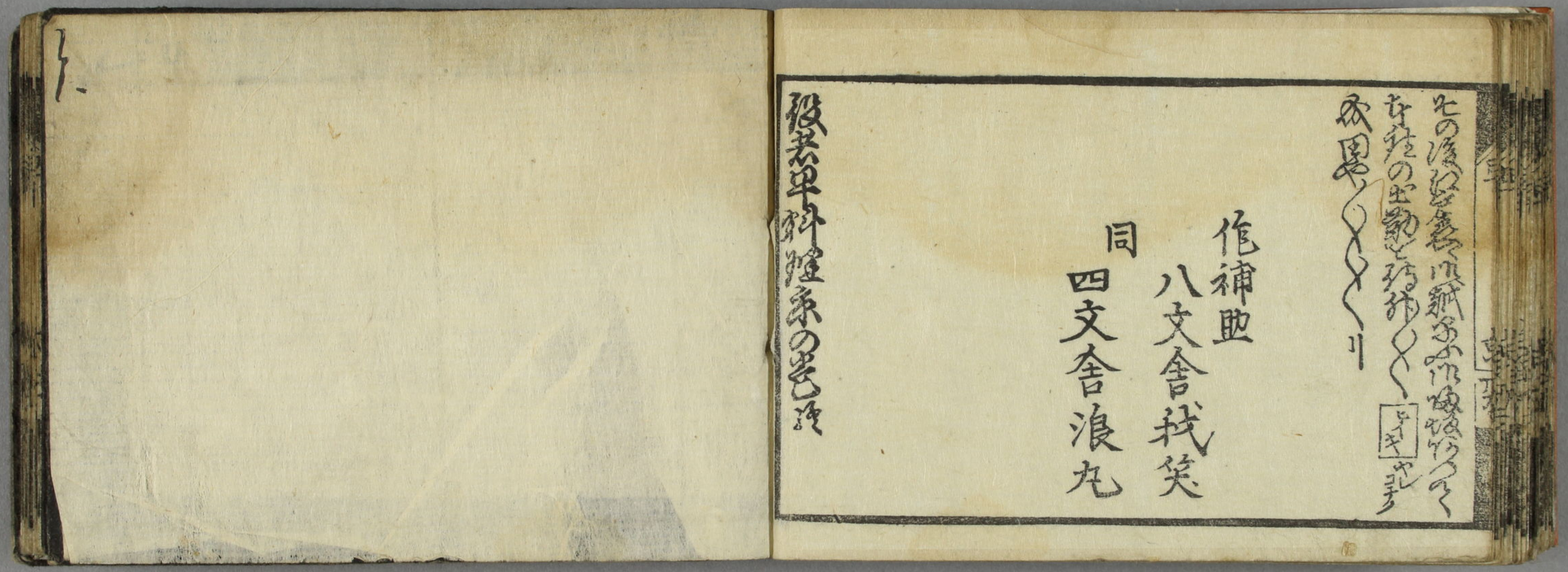
尾上松緑

上上吉

[illegible]

上上吉 [illegible]

[illegible]



他の後世を慕ひ嘆かつて
古往の生動と称すべき
成果なり

作補助　八文舎我笑
同　四文舎浪丸

殺菌中科醫家の発明

嘉永三戌

後藤甲斐守

役者目利獅

三上吉 ▲ 乙後後見

回 市川助三郎 △

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲実悪巻頭

大上上吉（三）丹国市蔵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

▲実悪敵後道外之部

上上吉 ◎ 中村友三 右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[トイキ] ヤレ系ゝ

上上士 回 姉川新宿 小

[説文] 扱ひ所が主系元黄四 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

上上上回 [illegible] 尾上菊五郎 お

[illegible]

上上上回 [illegible] 中村仲蔵 △

[illegible]

上上上回 [illegible] 市川市蔵 も

[illegible]

▲実悪心巻軸

大上吉 ◎ 濱尾與六 △

[裏] 初代ホウ[illegible]

[illegible]

[illegible]

十五人の人夫今ふ海ぶり行さ方ー清ふ
中分の [illegible] 大変ふ事ふ
[illegible] [illegible]
[illegible] 助ハ分ふ八月[illegible]
[illegible] 光秀松永浮[illegible]
[illegible] 浦[illegible]
[illegible] 姫[illegible]
[illegible] 川や[illegible]
[illegible] 助[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

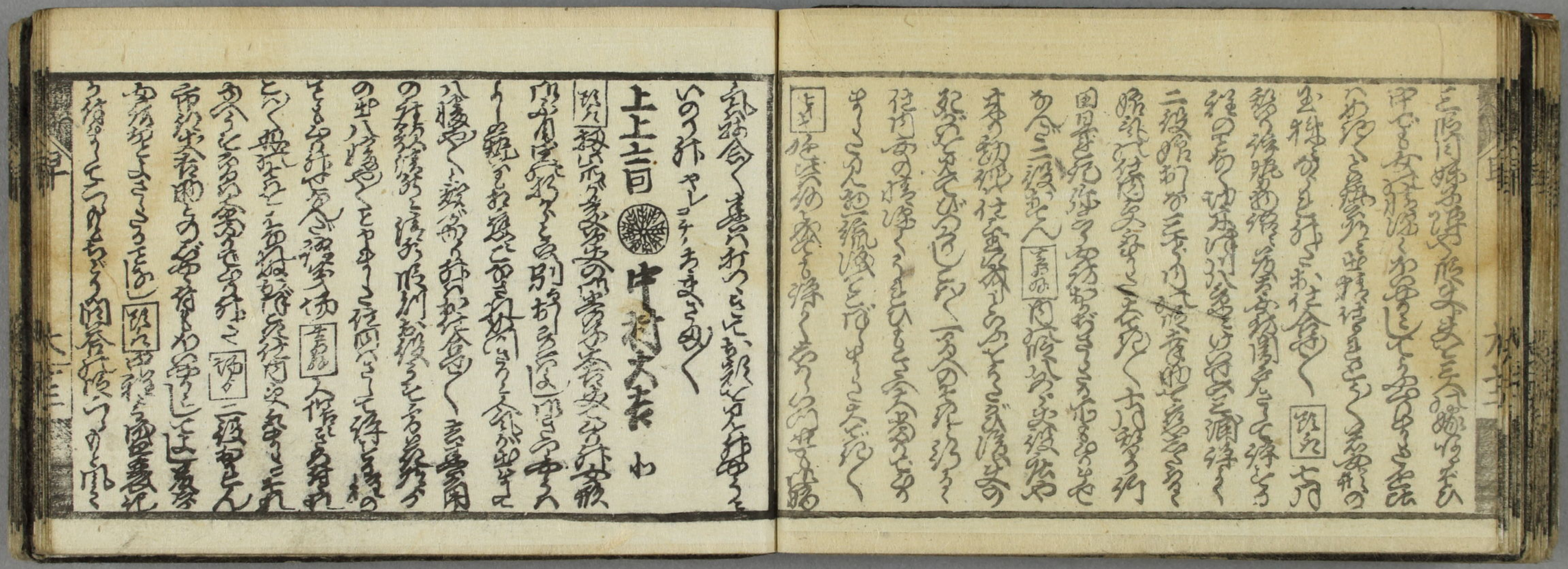
見聞雜記

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上十日 ㊐ 丙寅 △



[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 ◎ 大川内源兵衛 右

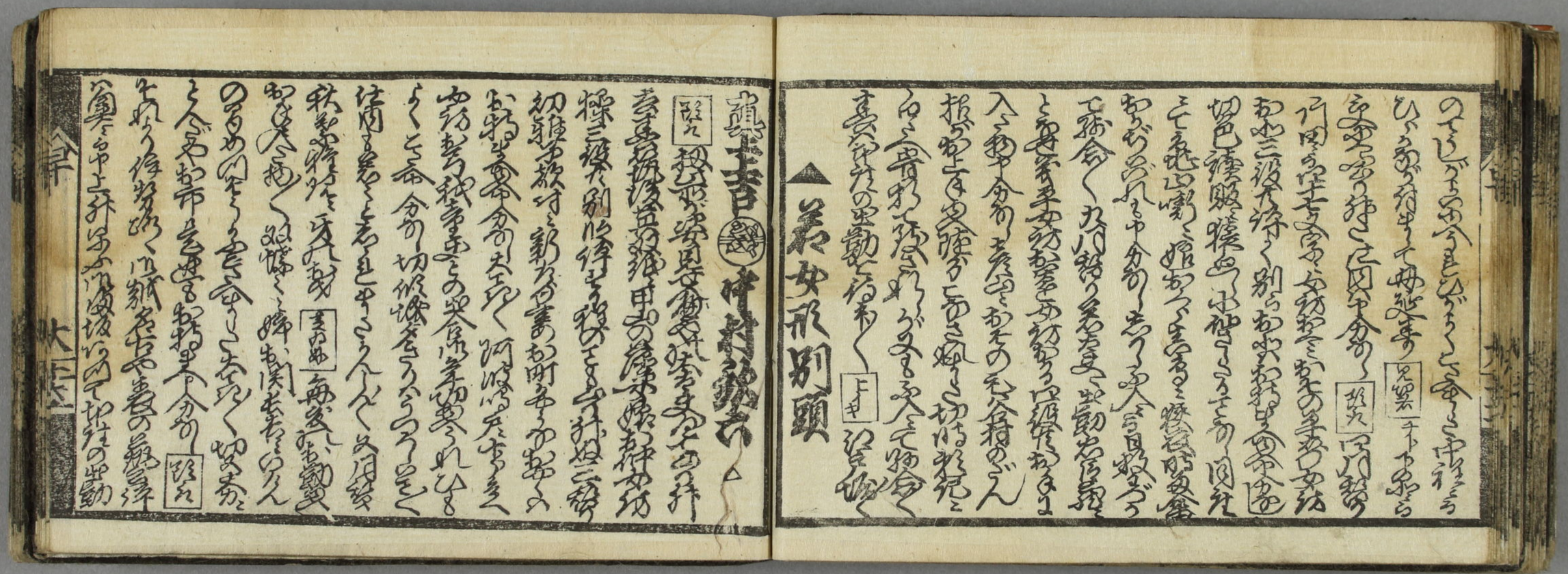
[illegible]

上上吉 ◎ 村千之助 㐂

[illegible]

上上吉 ◎ 山下金作 △

[illegible]



第女飛別頭

[illegible]

▲[illegible]女飛燕後伝

大極大吉 中村富十郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

京四條前狂言

三世桜大江戸

奴関ヤ　松寿

ちゝヤ　市蔵

鉄の杖仙　友三

けいうん　市友

おらん　芙蓉

おるまつ　延三郎

ちゝヤ女房　勇次郎

後狂言

四天王寺供養鑑

おるまつ人形

南枝

市蔵

切狂言

増補大網嶋

ちよく八郎

でんこう

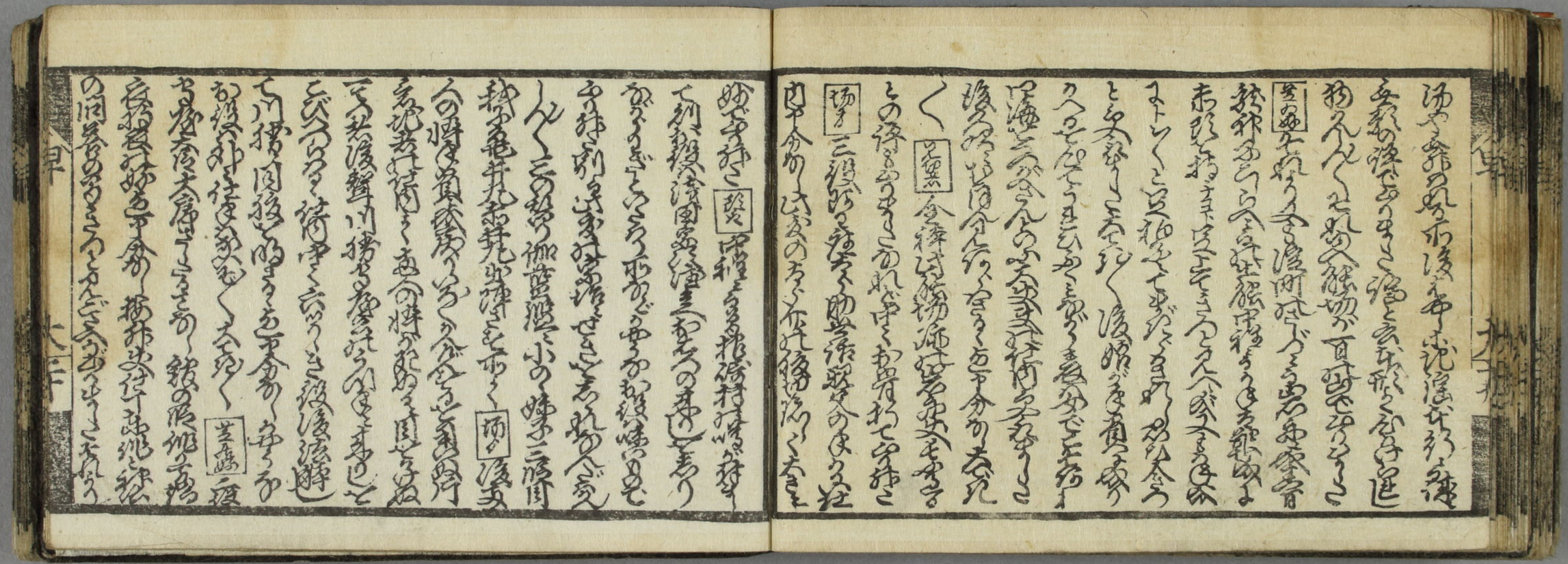
孫太郎

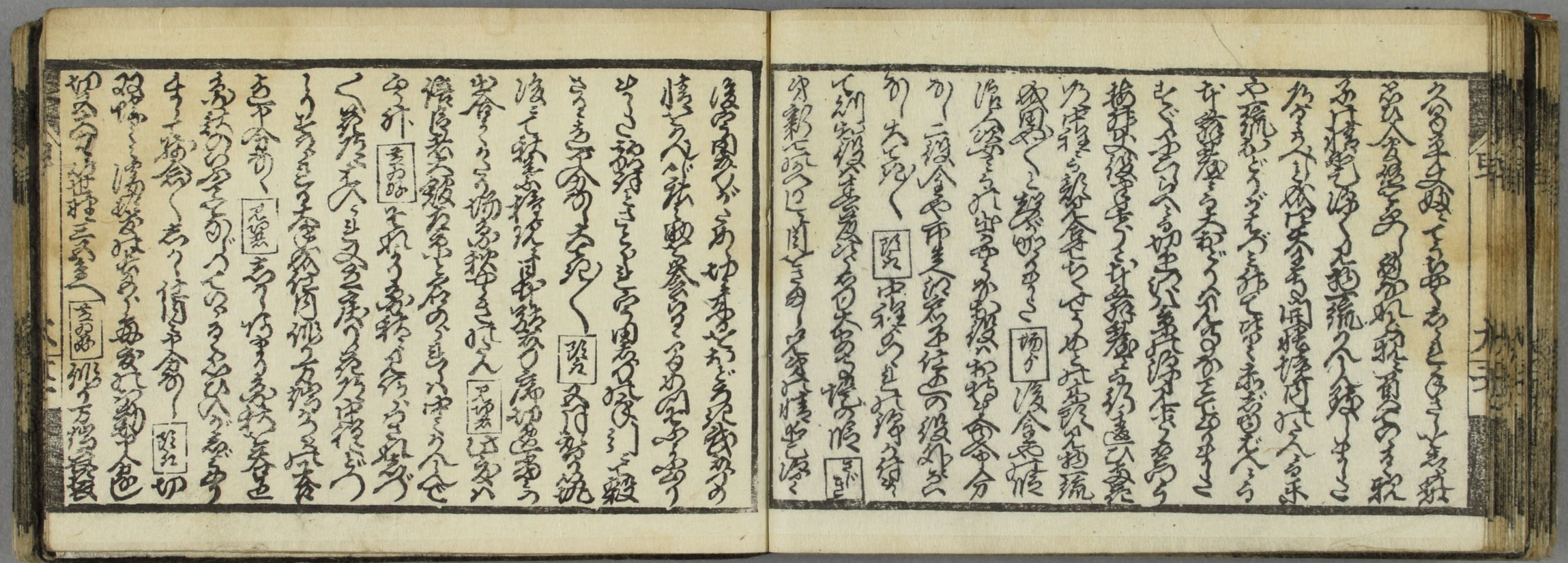
市蔵

延三郎

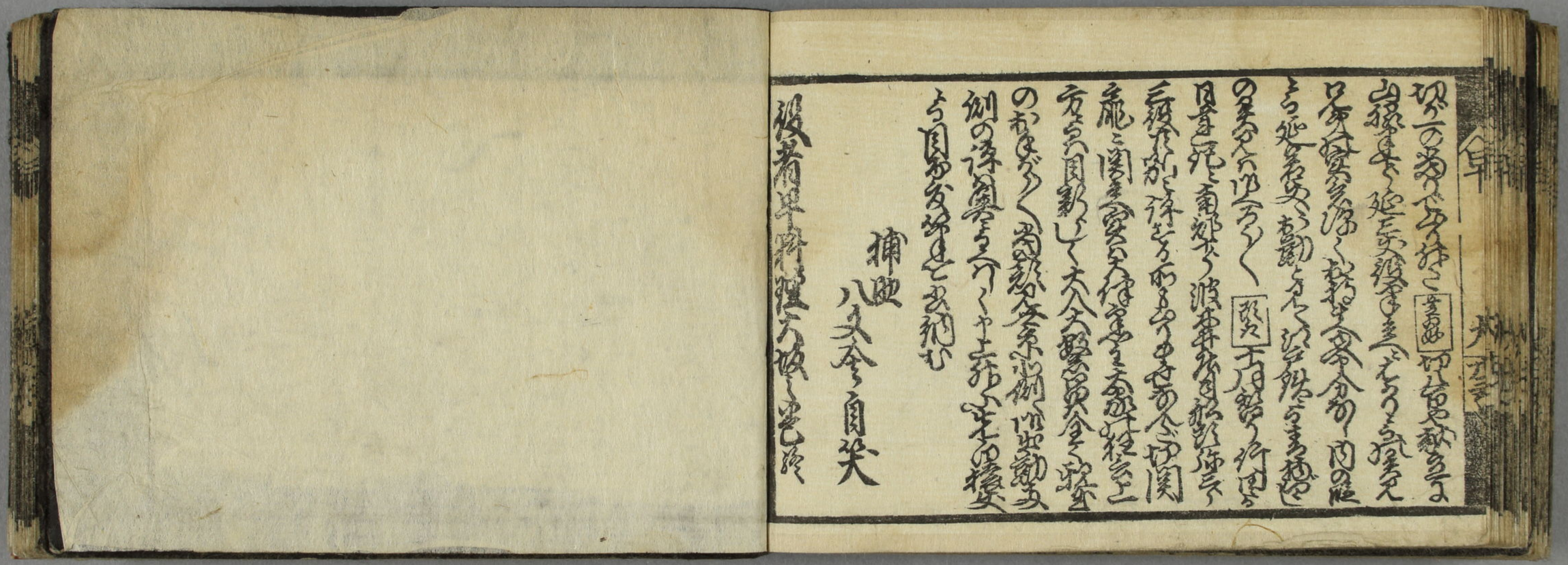
少ちよ

友三





の場合で分かり安いと思ったのでこれを
入れてみました。
[illegible]
く　[illegible]
石田[illegible]
[illegible]
[illegible]



切り二の巻りで五枚さ　[illegible]　切八寸長さ
[illegible]　延長[illegible]
[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]
[illegible]

嘉永
三戌

役者早特理

附録江戸
京阪側

下

系表例顔見世番付

顔見世の旅行

羽織袴でうろつく

とと様と檀那の

一陽来復の

樹齢千年

大世

キリ〳〵の拍ふく
ゆもも亨まも
十万石業むて
咲ちう大物狭
下戸も上戸も
あべう
永嘗の
見ぼ婦りう
花洛乃
大歓誉

京四条北側芝居切付

欲計稽古錦

後着早料理系少勇之巻

附録

小例の注

前 偽名手本忠臣蔵

後 新薄雪物語

切 双蝶々曲輪日記

敵討襤褸錦

高例の注

前 けいの巻筑紫獄

後 四天王寺伽藍鑑

切 増補天網嶋

菊萱菜門筑紫軸

小ぐらく邪

大上上吉 ㊀ 三将大吉の卦

[略式] 段々ものごとに成就する事
又要求の例 出勤 [略式] 三段目敬中
殘る品は段々に成ること
の段一両さいの事 [略式] 稽古事の時
段々剛変る人中ゆかぬ事 [略式] 中
[略式] 三段組合川中義 二段目物 [略式] 心
事 段々出入 [略式] 諸事で安心 張り更
大坂表 [略式] 稽合 [略式] 松竹物 [略式] 合
で松と切りの事 [略式] 段々
[略式] 段々 [略式] 三
段々組数 [略式] 二両目 [略式] 秋事の
動 [略式] [略式] 段々
[略式] 段々 [略式] 段々

あり [略式] 段々
[略式] 段々 [略式] 段々
[略式] 段々 [略式] 段々
[略式] 段々

竹園秋童

上上上上回　内閣総理大臣

[illegible]

上上上上回　実業家　三菱合資会社

[illegible]

上上上上回　実業家　[illegible]

[illegible]

上上上上回　実業家　[illegible]

[illegible]

上上上上回　実業家　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉回 南上松寿

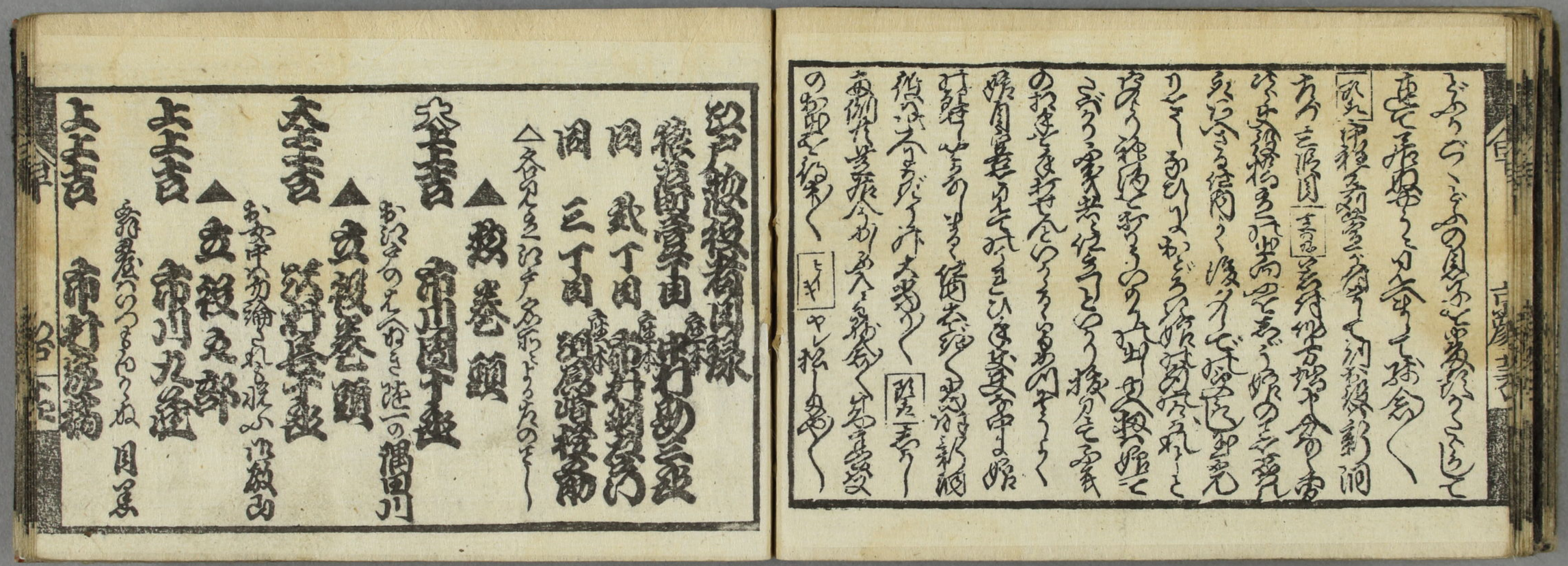
上上吉回 実川貫蔵

上上吉 中村友三

[illegible]

[illegible]

[illegible]



上上上上　松本小次郎

上上上上　中村銀助

上上上上　秋東行三郎

上上上上　市川段五

上上上上　関三十郎

上上上上　中村鶴蔵

上上上上　中村芝翫

上上上上　坂東彦十郎

上上上上　尾上新七

上上上上　市川團蔵

上上上上　中村福助

上上上上　坂東蓑助

上上上上　坂東玉三郎

上上上上　坂東彦三郎

上上上上　尾上菊五郎

上上上上　坂東三津五郎

上上吉　長谷川　深川

上上吉　中村文蔵

上上吉　浅尾奥山

上上吉　中村勘蔵

上上吉　坂東彦三郎

上上吉　尾上梅幸

上上吉　坂東しうか

上上吉　尾上菊五郎

上上吉　市川新車

上上吉　瀬川菊之丞

上上吉　岩井粂三郎

上上吉　中村梅玉

上上吉　市川團十郎

上上吉　市川鰕蔵

上上吉　坂東彦三郎

上上吉　坂東佐好

上上吉　嵐小六

上上書

[illegible]

中村文[illegible]

[illegible]

小林常[illegible]

▲南[illegible]子[illegible]部

市川[illegible]

[illegible]村[illegible]

[illegible]

大谷[illegible]

[illegible]

市川[illegible]

[illegible]

[illegible]村[illegible]

上上

[illegible]

小林

▲[illegible]部 [illegible]

三條[illegible]

中村[illegible]

[illegible]

[illegible]本[illegible]

[illegible]

大[illegible]書

[illegible]

▲[illegible]部

中村[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千秋萬歲万々歲人様

一すじは板ものやうに
右ハ江戸の中ほど乘ぶね極ぶね
お茶屋川つゝみ中ゝ水ゝ
市人ゝ
多ゝ市人ゝ彫刻付長永ゝ
ハ一ぱゝ傳ゝ方ハ婦人
ゝ者ゝ

板元

○ゝ五清盛板ものゝ
たのゝしゝ

▲五役善玉顔

尾上多見藏 猪

▲五役ゝ部

尾上書三郎 月

尾上書 月

尾上書 月

尾上書 月

上上上吉　中村藤助　美
上上吉　嵐藤十郎　楷
上上吉　嵐橋三郎　清
上上　中村寿郎　美
上上　嵐三十郎　楷
上上　市川新三郎　美
上上　中村文八郎　清
上上　嵐仙松　月
上上上吉　陸尾佳三郎　美

上　嵐藤次郎　楷
上上上吉　中村門三郎　清
上上上吉　小川市太郎　美
▲三役本位
大上上上吉　嵐藤寛　清
▲実悪敵役外道部
上上上吉　中村傳兵衛　楷
上上上吉　嵐藤右衛門　清
上上上吉　中山伝右衛門　美

上上中　淺尾園又郎　檜
上上吉　中村家十郎　月
評判ハ町中ニ高聚橋
市川助六　茶月
中村芝三郎　檜月
淺尾三郎　檜月
市川大三郎　月
岩井八十郎　月
岩井粂三郎　茶檜
市川九蔵　月
中村芝翫　清檜
中村其市　檜

上上

後世ハ名ハ高ク
市川團十郎　檜
中村芝翫　清
上上中村歌右衛門　檜
岩井半四郎　檜
市川團十郎　檜

上上

後世ハ名ハ高ク
市川仲蔵　檜
中村歌右衛門　檜
岩井半四郎　檜
中村仲蔵　檜
市川團十郎　檜

上上吉　中村歌右衛門　清
ぶるいのつよきこと飛代橋

▲茶屋形ら弟

上上吉　岩井富三郎　檜
もっぱら仕事ぶり　行家川橋
上上吉　中山一徳　月
こびかき辺ぐらひりの　ちきりの　茶橋
上上吉　市川壽三郎　茶
おり出さんとの　ぬ蔵
上上吉　岩井粂三郎　檜
役者ぶりよろしい　月　隠橋
上上　中村芝翫　清
仕ぶりもっぱらきっと　本町橋
中村芝翫　檜
中村芝三郎　月

上上

望上

三

上

▲

▲

▲

▲

鑑書　中村富兵衛　撰

日本年一ヶ月和の間を　おしろもの　錦要橋

▲ 粧元結部

若文屋

清吉

鬼屋

橋明屋

千歳屋

▲ 多張袋部

大丸屋

尾よ屋

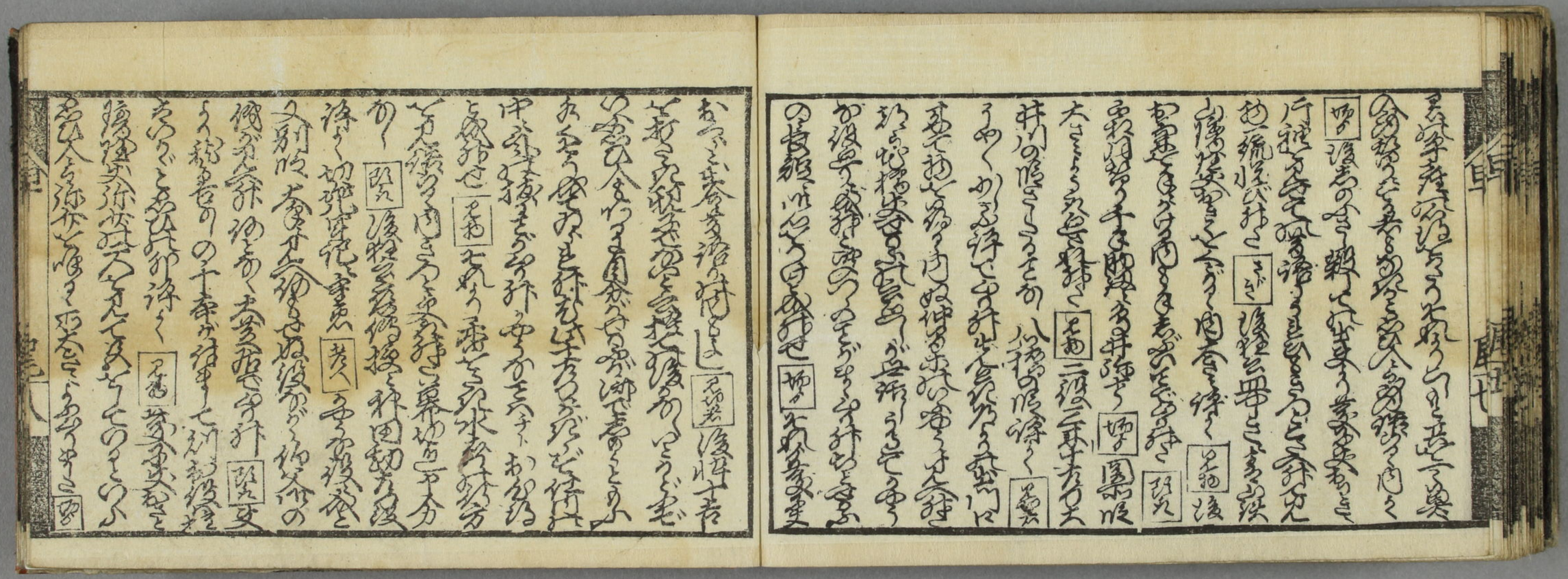
[illegible]

上上吉 ▲五段之部 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[



上上吉 ◇ 風雅集

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 中村伴義

上上吉 嵐猪寛

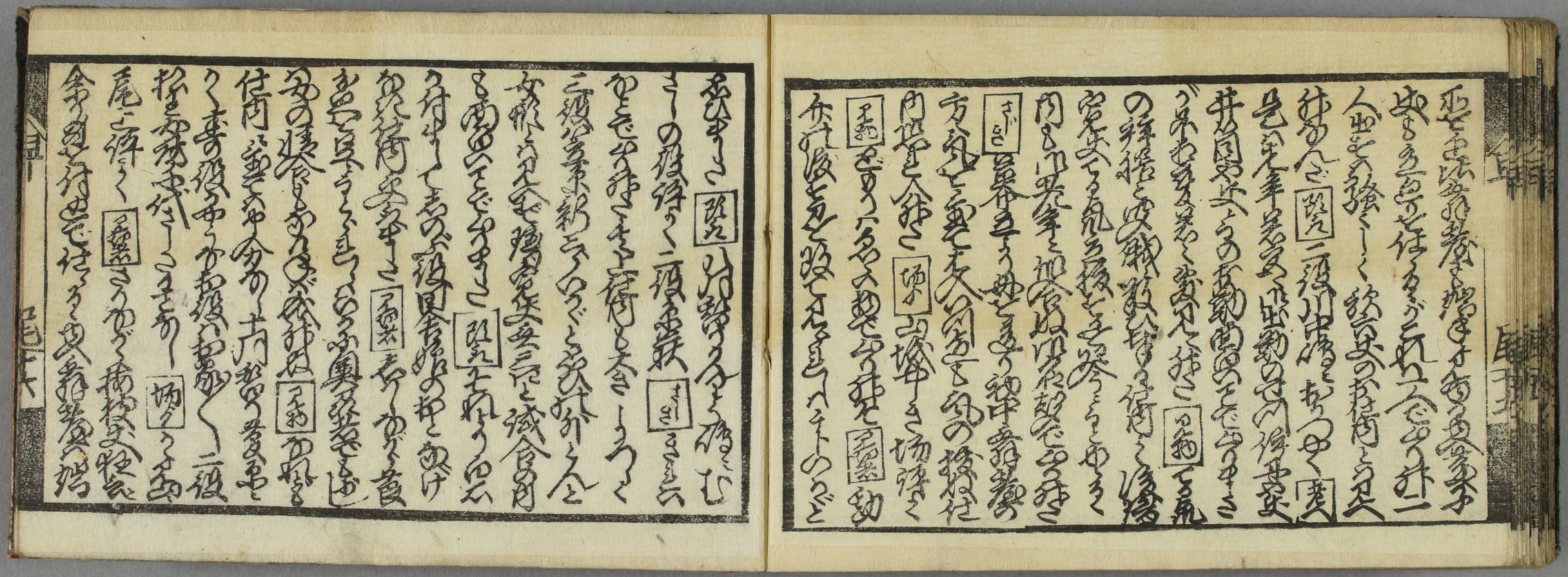
五段巻物

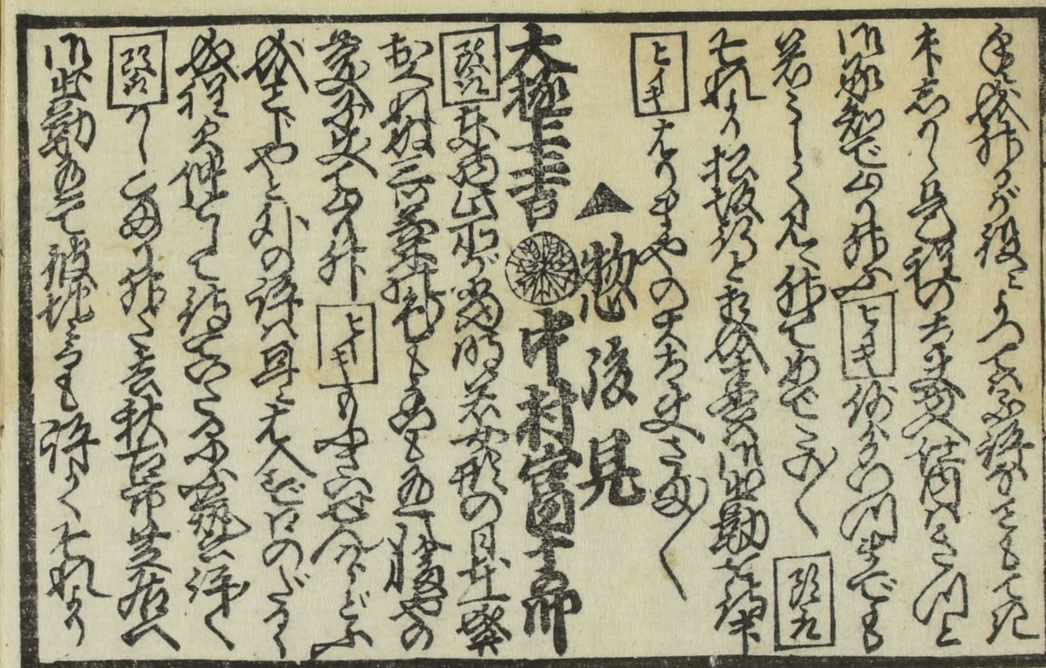
[又和] 新陰の流 [切り] 後動不無猶流 [又和] 二段動物後 [切り] 一流之形 [切り] 二段動物後 [切り] 一流之形 [切り] 二段目本

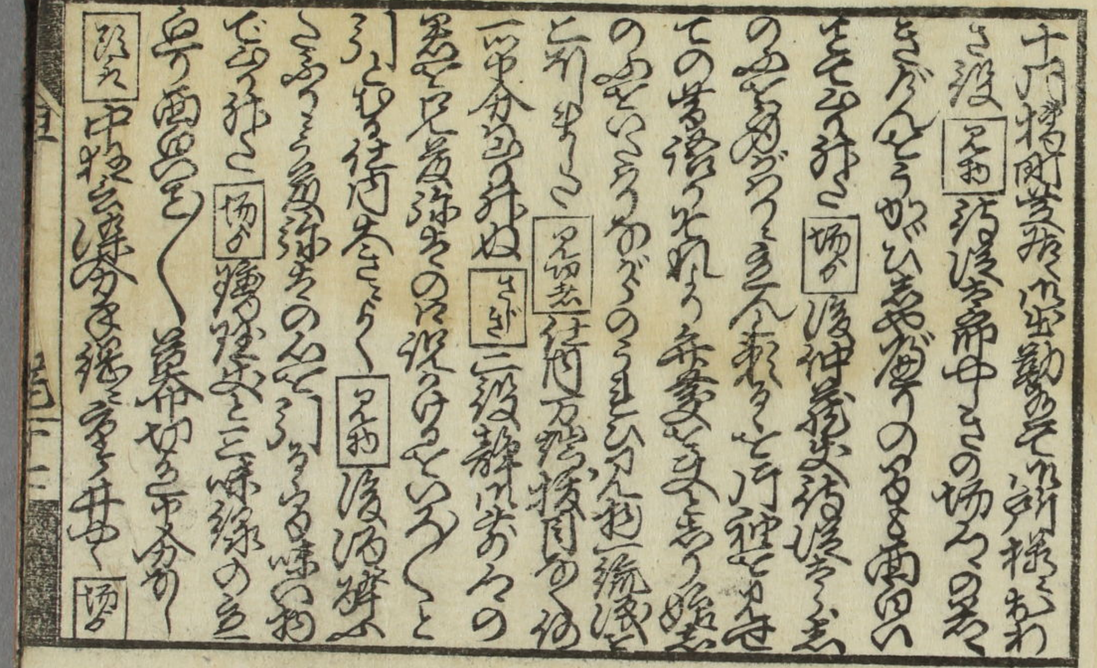
▲実悪敵役の部

上上上上　中村傳九郎

▲第廿形別頭
真土吉 中村欽







あるかぎりの諸侯を召集して
海を渡り外さ
[ヨロヒ]
どうりの諸侯をして外さ
[ヨロヒ]
廊下を渡り
[ヨロヒ]
外さ
[ヨロヒ]
あるかぎりの諸侯
[ヨロヒ]
海を渡り
[ヨロヒ]
[ヨロヒ]
[ヨロヒ]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

浪越
長々舍 可揉
浪苍
四文舍浪磨

浪苍
八文舍自笑
同
四文舍浪ア呂
同
松樹亭緑子
花洛
東山亭花樂
尾陽
長丁舍この様
東都
魁舍主人